

通信と放送の融合

インターネット、電話、放送、VOD
サービスプロバイダには、差別化しにくい商品

サービスプロバイダ生き残りのキーは結局
コスト
サポート

やっぱり高速回線がイイ！！でも高いのは、嫌っ。

電話料金は安い方がイイ！！でも電話番号が、変わるの、嫌っ。

店に行かなくても済むレンタルビデオ屋があったらいいなあ。

アンテナ、チューナが高い！！
工事がめんどくさい。

サポート窓口が何個もあって覚えられない。請求書も色々来て大変。

どうすれば低コストに？

1アクセスラインに全てのサービスを詰め込めば・・・
全てのサービスをIPで扱えば・・・
IPマルチキャストを使えば・・・

どうすれば良いサポートに？

どのサービスでも同じ窓口で済むようにすれば・・・
どのサービスでも申込書1枚、請求書1枚にすれば・・・
どのサービスでも1ライン、シンプルな宅内機器にすれば・・・
アンテナ設置工事、配線工事無しにすれば・・・



**1サービスプロバイダが全てIPベースで
提供すればいいんじゃないの？**

光ファイバ+IPならば1本のアクセスライン、1つの窓口で…

インターネットが、今も、これからも一番早い。

電話が安い。今は、IP電話でも同番移行も可能。

放送にアンテナ設置工事や高価なチューナがいらない。

VODができる。

IPマルチキャストならば経済的に放送ができる。光ファイバの品質ならばUDP+FECで高い映像品質を確保。(自己制御可能なCDNありきだが…)

全てのサービスを同じインフラで経済的に提供できる。

1社で全てのサービスを提供、窓口を一本化できる。



これが通信と放送融合の最終解では？